

FC バモス 12 ・ 1月のお知らせ

12 / 22 (土)

日吉小学校練習

対象・・・4年生

場所・・・日吉小学校

時間・・・10:00～12:00

～2019年 FC バモス始動！！～

1 / 5 (土)

日吉小学校練習

対象・・・1, 2, 3年生

場所・・・日吉小学校

時間・・・9:00～10:30 1, 2年生
10:30～12:00 3年生

1 / 12 (土)

日吉小学校練習

対象・・・4年生

場所・・・日吉小学校

時間・・・9:30～12:00

連絡事項

【日産カップ争奪 第45回 神奈川県少年サッカー選手権大会】

以下の日程で行われていきます。

【地方大会】：2019年(平成31年) 1 / 6日(土)、13日(日)、20(日)

応援よろしくお願ひ致します。(^^) v

報告事項

【JETS CUP】(1年生)

vs リバーFC● vs 東小倉SCO vs FCJETS R● vs ACラゾーレ○
vs FCJUNTOS○ vs FCJETS WO vs 下河原NSC△ vs セリエFC
○ **《第3位》**

初戦、相手チームのゴールに向かう勢いに少し圧倒される場面もあり、ボールに対して寄せきれず、シュートを打たれてしまう場面が多々ありました。

試合を重ねる毎に、ボールへの寄せも速くなり、バモスの子供達もゴールへ向かう積極的な姿勢、シュートを狙う事などを意識が出来るようになってきました。

試合中、得点が入るととても勢いがつき、子供達一人ひとりがボールに触りたい、自分もゴールを奪いたいという様子がプレーにも表れていました。

逆に先に2点を奪われてしまった場面では、少し気持ちの上で落ち込んでいる様子も見られましたが、最後まで諦めずボールを奪ってゴールに力強く向かう姿はとても逞しく感じました。

また、サッカーは相手がいるスポーツです。相手も必死にゴールを目指し、ゴールを守ります。その中で、自分のイメージ通り、満足のいくプレーが出来る時もあれば、失敗してしまう時、点を取らたり上手くいかない時もあります。

特に上手くいかない時は、諦めてしまいそうになったり、周りに対してイライラしてしまう時もあると思います。大切な事は上手くいかなかった時に、次はどのようにすれば良いかを考える事、仲間と助け合い協力をする事、失敗を恐れずチャレンジをし続ける事など、サッカーを通して学べる事が多くあると感じています。

子供達が沢山試合が出来る事にワクワクしながら、取り組んでいる姿に嬉しさを感じました。

今大会に招待いただきましたFCJETSの皆様、子供達のサポート及び応援をしていただいた保護者の皆様、ありがとうございました！

【2018年度川崎市秋季3年生サッカー大会】(3年生)

《バモスイエロー》

vs 久本 SCYE 12-00 vs プルチーニ 1-3● vs 野川 KFC 0-0△

久本戦ではそれぞれストロングポイントを出しながら、色々な選手が得点を重ねられました。1点目が入るまでは緊張した表情を見せていた選手達も1点目が入ってからは少し余裕が出て、余裕が出てくると色々な発想も出てきて面白いプレーも出してくれました。プルチーニ戦ではファーストプレーで下げたボールから横パスをインターセプトされて失点。出鼻をくじかれた格好になったバモス。浮足立つ選手達をプルチーニの選手達は見逃しませんでした。(ここはプルチーニの選手達の素晴らしい所でした)更に2失点しハーフタイムへ。既に目に涙を溜めている選手も。ここで、気持ちを切り替えます。後半はバモスペースで試合を進め、1点返したものの、1-3で惜敗。5分間のハーフタイムで気持ちを切り替えられた事は素晴らしいと感じました。この1点を返した精神力は『次』に繋がるパフォーマンスでした。3試合目は更に気合を入れての野川 KFC戦。かなり『個』の高い選手がいるチームでした。攻め込まれる時間帯も今までの2試合より長くなりますが、バモスの選手達の『個』も負けてはいませんでした。強く、粘り強くボールを奪い前線に繋ぎ相手ゴールを脅かすシーンも。とても熱い30分間でしたが、スコアレスドロー。残念ながら予選突破はなりませんでした。特に3試合目の様な試合を戦いきれた事はとても大きな経験になりました。予選を突破した2チームも決勝トーナメントでは好成績を残しており、実力があつたチームでした。この『悔しさ』と出来た事への『自信』をステップアップの大きな糧として成長していきます。

温かい応援を送り続けて頂いた保護者の皆様。応援に来てくれたブルーの選手。本当に有難う御座いました。今後の彼等の成長に乞うご期待！！

《バモスブルー》

●0-1 王禅寺レッド ●0-4 ジュントスブルー ●0-4 百合ヶ丘

みんなに選ばれたしっかりもののキャプテン、ダイキを中心に全員で力を合わせて大会に臨む事ができました。

体格や技術で上回る相手に対して全体的に押し込まれる展開となりましたが、全員で集中して最後まで粘り強く対応する姿が印象的でした。

中でも小さい体でも逞しく戦い抜いた最終ラインの選手達(特にタクの成長)と、ジンの勇敢なスーパーセーブには沢山助けられました。

一方で粘り強い守備でようやく奪ったボールをすぐに手放してしまう(外に出す・狙いなく蹴り出す)プレーには非常に勿体無さを感じました。

ボールを大事にして自信とねらいを持ってプレーが楽しめるようになると、サッカーがより深く楽しめるようになると思います。

またそれなくして今後のサッカーの成長は無いとも考えます。

子ども自身がトライ&エラーを繰り返し、いつか成功できる芽をつまない為にも、我々大人がしがちな安直で直接的な表現『クリアーだ！外に出せ！ボールを持つな！』等の声に疑いの目を向けて見る事も必要かもしれません。

プレー状況による事は前提となりますが、日本の育成にも尽力した元 INF(フランス国立サッカー学院)デュソーさんの言葉です。

『狙いなく蹴り合うだけのサッカーはボールだけでなく子どもの将来も失う』

最終試合のトワのドリブルには強い意志と積み上げた自信・得点の匂いを感じました。一人ひとりが怖れずにチャレンジができる環境を整え、自信を持ってボールを持つ事を楽しめるようになった時に大人の想像を越える発想豊かな選手が育っていくのかもしれない。勝敗や点差に関わらず、選手達の表情や取り組みを見て最後までポジティブな声援をいただきました保護者の皆様に感謝致します。素晴らしいサポートをありがとうございました！

【ヴィゴレ招待杯】(4年生)

○4-2GHU ○3-1 王禅寺 ○9-3 ヴィゴレ ●2-6 瀬田

《準優勝/5 チーム》

《優秀選手(MIP):せつまさ けんとかん》

夏のかわしん杯でしのぎを削ったヴィゴレさんに招待杯のお誘いをいただきました。10分×3ピリオドという目まぐるしい試合形式の中、限られた人数で力を合わせて戦い大きなトロフィーをいただく事ができました。

内容を見ると弛いプレスや足先での軽いプレー、間延びしたライン等、チームの基準が定まらずに相手に合わせ全体的に不安定な試合運びとなっていました。

プレー強度が変わった世田谷区準V瀬田SCとの最終試合では1本目は勢いに圧倒されていましたが、3本目には強度に慣れ始め、球際でも体を張り一進一退の見応えのある攻防が展開できた事は大きな収穫でした。

習慣の中でしかチームの基準は作られませんので、普段の練習のプレー強度をこのレベルに設定して互いに伝え求め合う事を継続した先にバモスのサッカー文化が生まれ、『当たり前にするべき事』を皆で共有した先にもう一段素晴らしい景色が待っているかもしれません。

【苜宿フットサルリーグ】(5年生)

ブルー vsジュントスホホワイト 8-60 イエロー vs等々カグリーン 18-00

今季最終戦に両チーム共勝利で飾る事が出来ました！！今年のFリーグはレベルが高く上手くいかないシーンも多々ありましたが、最後までこのタイトなリーグ戦を戦い抜きました。(まだ、他の未消化試合もありますが)この1年間でまた彼等のサッカー力(フットサル力)が肉付されています。かならずこの経験が色々な場所で役に立ちます！！レッツ、フットボール！！

【トレセン報告】

11月24日に行われた川崎市トレセンマッチデーにバモスより、しゅんご君、たいよう君、くうが君が幸区トレセンとして参加しました！

12月1日2日に行われた幸カップにバモスより、**そうま君、おうが君**が幸イエローとして参加し見事優勝を勝ち取りました！！**そうま君**は更に優秀選手賞も貰いましたよ！！(幸区対決で見せたトップスピードからのゴールネットが破れる様なシュートは今まで見た中でもNO.1ゴールでした！！)二人とも、おめでとう！！

12月9日に行われたTTC招待大会にバモスより、**そうま君、けんしん君**が幸区トレセンとして参加しました！